

神奈川県相模原市

- ①木製ソファ
- ②本庁舎総合案内カウンター
- ③積み木 (KUMINO)
- ④本庁舎展望室木製ベンチ
- ⑤東林間児童館ピクセルアート

【概要・アピールポイント】

- ①・庁内関係課から14件のレガシー利用案が提案され、利用方法を決定した。
レガシーとして多くの方の目に触れるように市内22箇所にも木製ソファを設置した。また、木材を伐り出した地元に「木を還す」との思いから地元中学校にも設置した。
 - ・本製品の二酸化炭素固定量を明示することで、脱炭素社会の実現に向けた取組としてPRしている。
- ②・庁内関係課から14件のレガシー利用案が提案され、利用方法を決定した。
 - ・オリ・パラ組織委員会より贈呈の「記念エンブレム盾」をカウンター内に設置した。
 - ・本製品の二酸化炭素固定量を明示することで、脱炭素社会の実現に向けた取組としてPRしている。
- ③・返却された木材の状態が、想定より損傷や劣化が少なかったため、レガシー利用として製作することとした。
 - ・積み木の全てのピースに「木材の産地」「樹種」「学名」「年」だけでなく、レガシー利用として製作された旨も刻印した。
- ④・本庁舎展望室は眺望が良く多くの方が利用する施設である一方で、利用者が腰を掛けてゆっくり景色を堪能する設備が無かったことから設置した。
 - ・本製品には、地域材である「さがみはら津久井産材」の公式ロゴマーク「つくいのき」を刻印した。
- ⑤・市立東林間児童館の建て替えに伴い敷地内のサクラを伐採したため、その端材と併せてレガシー材を使用し、児童館の完成記念として作成した。

■ 資材提供のきっかけ

木材の利用促進や「さがみはら津久井産材」の普及啓発はもとより、首都圏にある森林を多く持つ自治体としての提供意義が大きいと考え、資材提供するに至った。

■ 提供した木材の概要

スギ

■ 用途

- ①木製ソファ (22台)
- ②本庁舎総合案内カウンター
- ③積み木 (KUMINO)
- ④本庁舎展望室木製ベンチ
- ⑤東林間児童館ピクセルアート



■ 完成/使用開始時期

- ①2022年1月
- ②2022年3月
- ③2022年10月
- ④2023年1月
- ⑤2023年3月

■ 製作・使用したものの設置・建設場所や利用者など

- ①市庁舎、区役所等計22箇所
- ②市役所本庁舎
- ③イベント等で活用するほか、子供関連施設等への貸出も行う。
- ④市役所本庁舎展望室
- ⑤東林間児童館

■ 完成まで・完成後のエピソード

- ①②④については、庁舎内に設置することで、市民や市職員等に対し木材の利用意義について理解してもらうほか、公共施設内の木質化の促進にも貢献している。
- ③⑤については、主に子どもたちへ木のぬくもりを感じてもらうとともに、木育にもつながっている。

■ 用途決定までのプロセス

関係課にて利用案を作成。その後、東京2020大会に係る構成課にて絞り込み等が行われ、庁議にて利用方法が決定された。

問合せ先

森林政策課 林業振興班
電話：042-780-1401



さがみはら津久井産材
公式ロゴマーク「つくいのき」